

分析用土壌の採取方法

注意！

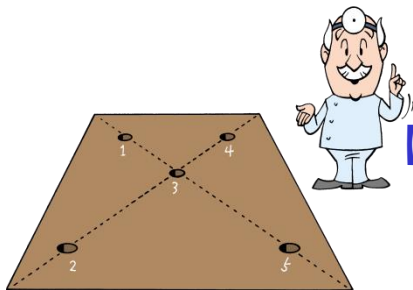
- 土に水分が含まれていたり、均一な大きさでないと正確なデータが測れません。
乾燥・ふるいがけが絶対条件です。(乾燥・ふるいが不十分な場合は返送しますので分析が遅れます。乾燥・ふるいがけは徹底してください)
- 土の取り方によっては分析データに誤差が生じますので正しく取りましょう。

- ①土を採取(作土15cm位)(果樹は30cm)
表層約1cmを取り除く。
下図のように5ヶ所から採取する。
肥料が入らないように注意する。
- ②採取した土をよく混合する
- ③乾燥(約10日)
- ④ふるい(2mm)にとおす
- ⑤約300g(茶碗一杯分)を袋に入れる



サンプリングの注意事項

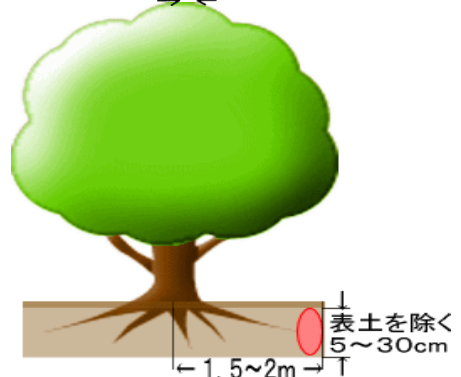
- ①採取時期は施肥前か収穫後の降雪前に行う。
- ②肥料袋に土を入れない。
- ③同じほ場での分析結果の経年変化を確認するためほ場名は毎年統一する。
- ④精密土壌分析では、分析項目が多いため多くの土壌を必要とします。茶碗一杯分は必ず守ってください。



【水田・畑作の場合】



【樹園地の場合】



JA全農あおもり 土壌分析センター
〒038-0031
青森市大字三内字丸山393番地2
TEL 017-729-8641(営農対策部 営農指導課)
FAX 017-762-1076

